

## 取扱説明書

マルチファンクションジャンプスターター

# ITO-64000/ITO-128000



### お客様へ

- ・安全に正しくお使いいただく為に本製品を使用する前に「取扱説明書」をよくお読みになってください。
- ・お読みになられた後も必ず必要になるときがありますので「取扱説明書」は大切に保管してください。
- ・パッケージから出して最初にお使いになる時は充電がされていない状態なので満充電にしてから使用するようしてください。
- ・このジャンプスターターのプラスクランプ (赤) には OFF 機能がついています。「プラスクランプ (赤) の電源 OFF 機能について」の項目をあらかじめ確認してください。

# 商品の特徴

1. -30℃の極低温でも加熱機能を装備しているのでジャンプスタートが可能です。
2. 80%を ITO-64000 は20分で、ITO-128000 は30分で急速に充電できます。
3. 12V または 24V 車両が発電した電気を直接本体へ充電する事ができます。
4. 急速充電をサポートしています。ITO-64000 は3時間、ITO-128000 は6時間です。
5. 0.3V 以上車両のバッテリーに電気があればプラスとマイナスを自動で判断してくれます。
6. 電圧と温度の管理が一目で分かる LCD ディスプレーを装備しています。
7. 最新のプログラムによって電池の寿命を長くします。
8. リン酸鉄リチウム電池を使用する事で他の電池に比べ圧倒的に長い寿命を実現しています。

# 安全保護機能

- 電圧を自動判断します。
- 0.3V 以上あればプラスとマイナスを自動で判断します。
- ショートした場合は保護機能が作動します。
- リチウム電池低電圧保護機能
- バッテリー過熱保護機能
- モノリシックバッテリー過電流保護機能
- クリップが緩んでいる時の自動電源 OFF 保護機能
- 起動時の時間オーバー保護機能
- 約 8 ～ 15 秒の連続強制出力での停止保護機能

# 各部の名称と構成品

## 各部の名称

【本体表側】



【本体裏側】



## 構成品

- ジャンプスターター…………… ×1
- 100V 充電器…………… ×1
- 12V 車用アクセサリ充電器…………… ×1
- ハンガーフック…………… ×2

# 各スイッチの機能

## Switch（電源スイッチ）

Switch を押すとLCDディスプレイが点灯しバッテリー容量と電圧をお知らせします。バッテリー容量は%で表示され100%で満充電となります。電圧は数字でお知らせします。電圧の数字が点滅している場合は電圧が低くジャンプスタートはできないので充電を行ってください。またSwitchを2秒間長押しする事でLCDディスプレイが消灯し本体の電源を落とす事ができます。

## Heating（ヒーティングスイッチ）

Switch を押して LCD ディスプレーが点灯した状態で Heating を押すと Heating とバッテリーの温度が数字で表示されバッテリーを温め始めます。温度が 25℃を超えると Heating が点滅し10分間一定の温度を保ってからシャットダウンします。

## Lighting（LEDライトスイッチ）

Switch を押して LCD ディスプレーが点灯した状態で Lighting を押すと LED ライトが点灯します。その状態で Lighting を押すと「ライト明るさ中」「ライト明るさ小」「点滅」「SOS信号」「消灯」の順番で作動します。ライトを途中で消灯したい場合は素早く Lighting を2回押して消灯させてください。

## 12V スイッチ

Switch を押して LCD ディスプレーが点灯した状態で12Vスイッチを2秒間押すと LCD ディスプレーに 12V とクランプマークが表示されクランプに電気が流れます。以下の場合は電気が流れていないことを表すので注意してください。ただしこのスイッチは車両のバッテリーターミナルに繋がらない状態での使用は危険ですので行わないでください。

- 画面が点滅するときはプラス、マイナスの極性が間違っています。
- クランプマークが表示されないときは Switch を2秒間長押し極性を確認して再度電源を入れてください。

## QUICK CHARGE（急速充電スイッチ）

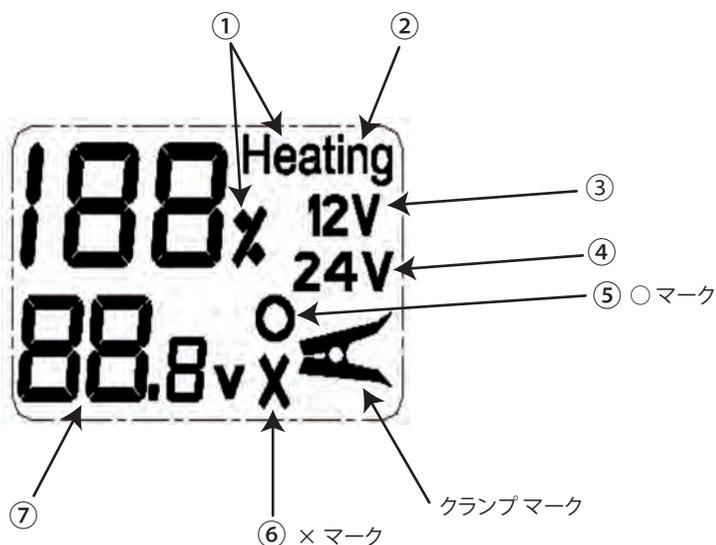
QUICK CHARGE を押す事で車両から80%までの急速充電を行うことが出来ます。詳しい使用方法は「車両からの急速充電」の項目をご覧ください。

## 24V スイッチ

Switch を押して LCD ディスプレーが点灯した状態で24Vスイッチを2秒間押すと LCD ディスプレーに24V とクランプマークが表示されクランプに電気が流れます。以下の場合は電気が流れていないことを表すので注意してください。ただしこのスイッチは車両のバッテリーターミナルに繋がらない状態での使用は危険ですので行わないでください。また車両のバッテリーが12Vの時に出力してしまうと車両のバッテリーが破損する可能性があるので更に注意してください。

- 画面が点滅するときはプラス、マイナスの極性が間違っています。
- クランプマークが表示されないときは Switch を2秒間長押し極性を確認して再度電源を入れてください。

# LCDディスプレイの名称



- ① %が表示されているときはバッテリー容量を表示しています。Heatingが表示されているときはバッテリーの温度を表示しています。
- ② バッテリーを温めています。
- ③ クランプの出力が12Vの時に表示されます。
- ④ クランプの出力が24Vの時に表示されます。
- ⑤ プラス、マイナスが正しく接続されているときに表示されます。
- ⑥ プラス、マイナスが逆に接続されているときに表示されディスプレイ全体も点滅してお知らせします。
- ⑦ バッテリーの電圧を表示しています。

## USB ポート

Switch を押してLCDディスプレイが点灯しているときは USB ポートに電気が出力されている状態です。スマートフォンやタブレット等の電子機器を充電することができます。

## 出力逆接続表示

プラス、マイナスを逆に接続すると ×マークが表示されディスプレイ全体が点滅してお知らせします。

# プラスクランプ (赤) の電源 OFF 機能について

- ・このジャンプスターターのプラスクランプ (赤) には OFF 機能がついています。
- ・プラスクランプ (赤) が閉じている状態で通電、開いている状態で通電停止の OFF になります。
- ・使用前に本製品の電源 OFF 機能を確認、理解の上お使いください。

## 確認方法



プラスクランプ (赤) を本体背面のホルダーから外してください。



Switch を押すと LCD ディスプレーが点灯します。



12V スイッチを2秒間押すと LCD ディスプレーに12Vとクランプマークが表示され電気が出力されます。



プラスクランプ (赤) を握って開くと12Vが消え通電が停止し出力が OFF になります。

## 屋内での充電方法

付属の充電器を室内の電源コンセントに差し込み、もう一方の端を本体の充電口に差し込んで充電を開始してください。充電中は電圧が点滅し%値が増えていきます。100%または 28.8V の時点で電圧値の点滅が停止して充電が完了し電源が自動的に OFF になります。

## 車両のアクセサリースOCKETで充電する方法

付属の充電ケーブルを車のアクセサリースOCKETに差し込んで、もう一方の端を本体の充電口に差し込んで充電を開始してください。充電中は電圧が点滅し%値が増えていきます。100%または 28.8V の時点で電圧値の点滅が停止して充電が完了し電源が自動的に OFF になります。

# エンジンスタート

- ① 車両のキー、アクセサリを OFF にしてください。
- ② Switch を押してLCD ディスプレーの表示が 24V 以上あることを確認してください。
- ③ Heating を押して10℃以上になっていることを確認してください。10℃以下の場合は10℃以上になるまで待ってください。
- ④ プラスとマイナスのクランプを車両のバッテリーに接続して○マークがLCDディスプレイに表示されたことを確認してください。

## ⚠注意

- ・赤いプラスクランプから接続してください。
- ・×マークが表示されたときは逆に接続されています。確認してください。
- ・クランプを挟む時はターミナルのグリス等を取り除き最大面積を大きく取ってクランプして下さい。面積が小さいと異常な発熱が起こりクランプ、基板、バッテリーが破損します。

- ⑤ 12Vまたは24Vスイッチを押して電気を出力させてください。

## ⚠注意

- ・車両のバッテリーが15V以上の時は自動的に24Vが出力されます。
- ・12V車のバッテリーへ24V出力を行うと車両のバッテリーが破損する可能性がありますので24V出力の場合は必ず確認を行ってください。

- ⑥ エンジンをスタートさせ、プラス側からクランプを外して終了してください。

## ⚠注意

- ・赤いプラスクランプにはOFFスイッチが装備されています。電気が出力されていてもクランプが開くと出力は解除されます。クランプの歯が合わさり導通があるときはON。導通が無くなるとOFFになります。

- ⑦ エンジンがスタートした直後に車両から急速充電を行うことが出来ます。急速充電を3～5分行うことで次回使用するとき充電量が増えた状態で使用する事ができます。

スタート後、急速充電を行う場合は下記要領で行ってください。

- 1、エンジンがスタートしたらクランプはそのままにしておいてください。
- 2、QUICK CHARGE を1秒間押すと○マークが点滅し充電がはじまります。
- 3、3～5分行るか80%になったらプラスクランプ(赤)から外して充電を終了してください。

## ⚠注意

- ・エンジンを約8～15秒連続でスタートさせると自動的に保護回路が機能し出力を停止します。
- ・80%以上の充電は行わないでください。

# 車両からの急速充電

## (クイックチャージ / QUICK CHARGE)

車両から本体へ急速充電する事ができます。

- ① Switch を押してディスプレイを表示させてください。
- ② プラスとマイナスのクランプを車両のバッテリーに接続して○マークが表示されたことを確認してください。

### ⚠注意

・ × マークが表示されたときは逆に接続されています。確認してください。

- ③ 車両のエンジンをスタートさせてください。
- ④ QUICK CHARGE を 1 秒間押すと○マークが点滅し充電がはじまります。
- ⑤ 急速充電は 80% までとなります。80% になったらプラス側からクランプを外して終了してください。

### ⚠注意

・ 80% 以上の充電は行わないでください。

### 【車両から急速充電を行う時の目安】

2000cc の乗用車の場合 (0% から 30% までの充電時間はおおよそ 5 分です。  
0% から 80% までの充電時間はおおよそ 20 分です。)

# ハンガーフックの使い方

スペースが無い時やコードが届かない時はハンガーフックを写真の様に使うことで無理なくジャンプさせることができます。



# 仕様

|         | マルチファンクションジャンプスターター<br>ITO-64000           | マルチファンクションジャンプスターター<br>ITO-128000          |
|---------|--|--|
| 型番      | L1628 ITO-64000                            | L1630 ITO-128000                           |
| バッテリー容量 | 64000mAh (211.2Wh)                         | 128000mAh (422.4Wh)                        |
| スタート電流  | 12V/650A、24V/650A                          | 12V/750A、24V/750A                          |
| ピーク電流   | 12V/1300A、24V/1300A                        | 12V/1500A、24V/1500A                        |
| 最大始動電力  | 12V/7800W、24V/15600W                       | 12V/9000W、24V/18000W                       |
| 動作温度範囲  | -30℃～+60℃                                  | -30℃～+60℃                                  |
| 充電時間    | 3時間 (0% から)                                | 6時間 (0% から)                                |
| 急速充電対応  | 80%を20分で充電 (0% から)                         | 80%を30分で充電 (0% から)                         |
| 入力      | 12V～24V/4.5A～3.5A<br>12V/24V ジャンプスタータークランプ | 12V～24V/4.5A～3.5A<br>12V/24V ジャンプスタータークランプ |
| 出力      | 12V/24V ジャンプスタータークランプ<br>USB：5V/2.1A×2     | 12V/24V ジャンプスタータークランプ<br>USB：5V/2.1A×2     |

# 保管方法

リン酸鉄リチウム電池は一般的なリチウム電池とは異なり耐熱、耐力性がありメモリー効果は無いと言われていますが、一般的なリチウム電池と同様に保管してください。

- ・長期間使用しない時は満充電の状態で保管してください。
- ・長期間使用しない時は3ヵ月に1度は充電を行い満充電にしてから再度保管してください。

## ⚠注意

リチウム電池は満充電の状態で保管する事で電池の寿命を延ばす事ができます。  
電気が空の状態では保管すると寿命が早く来たリメモリー効果 (100%表示なのに容量は50%等) が強くなることがあるので保管するときは満充電にするように心掛けてください。

# 一般的な質問

## Q1. エンジンがスタートしない。セルが回らない。

A1.

- ・ 本体の電圧が 24V 以上あるか確認してください。
- ・ 本体のバッテリーに容量があるか確認してください。
- ・ バッテリーの温度が 10℃以上あるか確認してください。
- ・ クランプが適切に車両に接続されているか確認してください。
- ・ 接続部がゴムブーツ等で通電が妨げられていないか確認してください。
- ・ ターミナルが汚れていないか油が付着していないか確認してください。

## Q2. 24V の電圧を自動で認識してくれますか？

A2.

- ・ 本体のプラス、マイナスクランプを車両のバッテリーに接続した時に車両のバッテリーが 15V 以上の時は自動で電圧を判断して 24V を出力します。

## Q3. 何回ジャンプスタートが出来ますか？

A3.

目安として、通常の使用でガソリン 12V 車は約 60 回、ディーゼル 24V 車は約 20 回スタートできます。

## ご注意ください

- この製品をお使いいただく為に「取扱説明書」を使用する前によくお読みになってください。
- この製品は 12V、24V の車に使用する製品です。それ以外の電圧の機器に接続して使用する事はやめてください。
- 耐水、防水機能は装備されていないので水に入れたり雨に濡れたりの使用は避けてください。
- 可燃性の液体、ガス、ほこりのある環境での使用は避けてください。
- 室温での充電は 0℃～45℃までです。
- 充電器は付属の充電器以外は使用しないでください。
- 高温環境下での保管（車内保管等）は、絶対に行わないでください。  
※製品を水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所や高温環境下に保管すると火災、感電、故障の原因になり、器物等が破損し、重大な障害、または死亡する可能性があります。上記の場所での保管は絶対に行わないでください。
- バッテリーの電圧が 24.0V 以下の時にエンジンをスタートさせないでください。電圧が 24.0V を下回リスタートさせると電池が異常に熱くなり、本体が破損します。  
※24.0V 以下でスタートさせ破損した場合の保証は出来ませんので、ご了承ください。  
※本体電圧が 24V を下回ってスタートさせると必ず故障します。余裕をもって 24V 以上でスタートしてください。

●クランプを車両のバッテリーのターミナルに挟むときは面積を大きく取ってください。

※面積を大きくとらなかつたり板のような部分に挟むとクランプが熱を持ったり火花が出たりし変形します。バッテリークランプの変形や溶けに関しては保証できない可能性がある場合がございます。

※クランプが変形するような使用をした場合、基板の部品が壊れたり電池が消耗する事があり保証対象外になります。



保証対象外



歯全体をターミナルに当てる

くわえる面積が小さいと発熱し故障します。

面積を大きく取り発熱を抑えてください。

●プラス、マイナスクランプの逆接続、クランプの接触は絶対に行わないでください。

※逆接続は故障の原因になるので絶対に行わないでください。

※プラス、マイナスの逆接を行うと安全装置が働き×マークが表示され安全は確保されますが機器の故障を全て排除するものではありません。

※逆接続した場合は放置せずにクランプを直ぐに外して下さい。そのまま放置すると爆発する可能性が高いので迅速に対応してください。

※逆接を行って電気を出力してしまった場合、本体が破損している可能性があり危険なので再使用せず弊社へ修理に出すか製品を破棄して下さい。

●エンジンスタートは10秒の長回しで安全装置が働くことが有ります。何回も安全装置が作動するような使い方は控えてください。

●エンジンスタートは3秒間のインターバルを置いて3回で10秒以内を心掛けてください。

●連続で3回セルを回してエンジンがスタートしない時は使用を中止してください。

※3回でエンジンがスタートしないときは車両側に原因があると考えられます。車両側に原因がある状態で使用し続けると、本体が破損する可能性が高くなります。

●スタートしてバッテリークランプを接続したままエンジンの空吹かしを行うと電流が本体に流れて異常発熱する可能性があるため絶対に行わないでください。

※異常発熱による破損、ボディの溶け、膨らみは保証できませんので、ご注意ください。

●エンジンをスタートした状態でジャンプスターターをバッテリーに接続したまま使用を続けしないでください。また走行もしないでください。

※接続したままにする大きな電流が本体に流れるため安全装置が破損しバッテリーが熱を持ち火災が起る可能性があります。

※接続したままで走行するとバッテリークランプが振動ですずれ火災が起ります。

●その他の注意

・電池の改造、解体をしないでください。

・子供が触らない所に置いてください。

・製品を焼却炉に入れて燃やさない様に注意してください。

・充電中に異常や故障かなと思ったら、販売店に連絡してください。

・製品の液体が目に入った時は、直ぐに水で洗って医者に相談してください。

・充電中や放置中に、製品が熱くなったり色が変わったりした時は、使用を中止して下さい。液体の漏れ、煙の発生、火災になる可能性があります。

・充電中は製品を燃えやすい物の上に置かないで下さい。(ベッドやタオル等)

・保証を受けるときは、この保証書が無いと受けられませんのでご注意下さい。

# ハイブリッド車について

## ■ハイブリッド車について（主にトヨタ車）

※車両のバッテリーがリアに有りフロントにプラス端子が出ている場合、片面金属、片面プラスチックなのでバッテリークランプをはさんでも～START READY になりません。その時は付属の「専用クリップ」を写真の様に折り曲げプラス端子にはさんだ後にしっかりと専用クリップにバッテリークランプを挟み込んでください。「専用クリップ」の取り付けが終わったら通常の手順でエンジンをスタートさせてください。

片面プラスチック

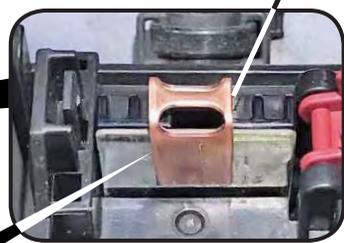
※導通が無いので通常 ON にならない

曲げた専用クリップを  
プラス端子に差し込む



フタ

片面金属



フロント  
プラス端子

ヒューズ  
ケース等

専用クリップを曲げる



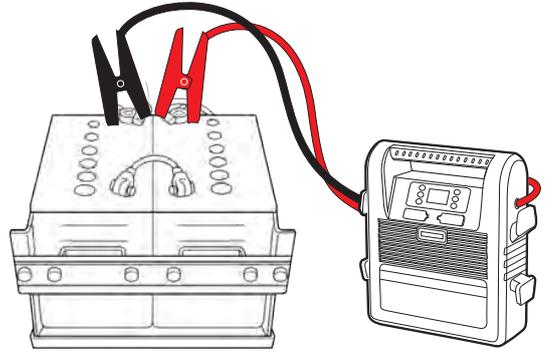
専用クリップ  
にバッテリー  
クランプを  
しっかり加え  
てください。

# 24V車、強制出力によるエンジンジャンプスタート方法！

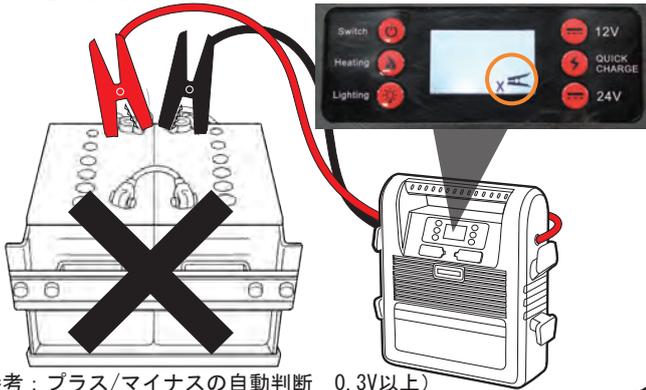
- ① Switchを押し表示が24V以上、10°C以上あることを確認してください。  
(10°C以下の場合は説明書をご覧ください)



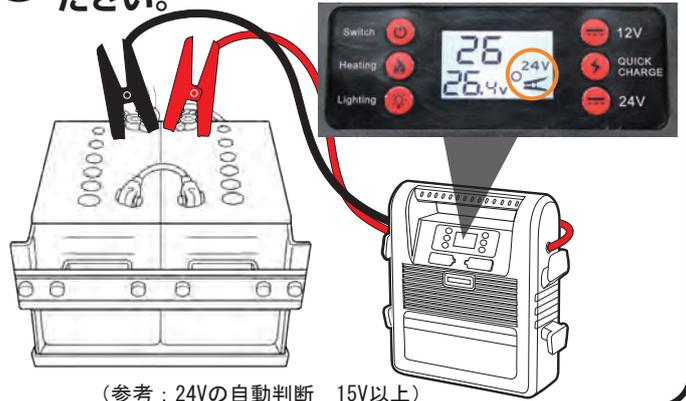
- ② プラス/マイナスのクランプを接続してください。  
Switchを押し接続してください。



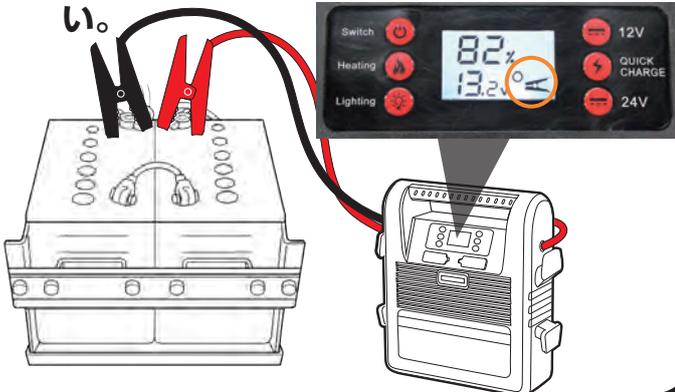
- ③ ×が表示されたら逆接です。直ぐに抜き変えてください！



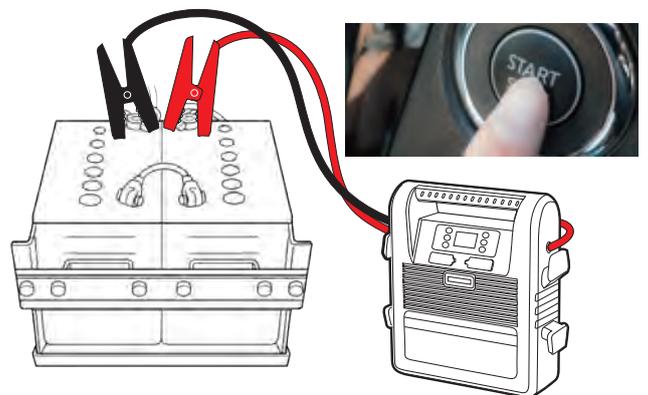
- ④ Oと24Vが表示されたのを確認してください。



- ⑤ Oだけが表示されたときは24Vスイッチを長押しして24Vを表示させてください。



- ⑥ エンジンをスタートさせてください。



お問い合わせ/ 株式会社ハチハチハウス TEL:048-489-1888

**プラス、マイナス逆接続を行なった際の強制出力による破損は保証を受けられません！**

12Vでスタートさせるトラックもあるので注意してください。(例:ブルーテックキャンター、4P10エンジン搭載車)